

令和８年度 図画工作科 授業改善プラン

文京区立駕籠町小学校

	児童の実態及び課題	○中心とする単元	授業改善に向けての具体的な手立て	◎ 成 果 ● 課 題
知識・技能	〈２年、３年〉 ・ 表したいことを思い付いて意欲的に作っているが、まだ、用具の扱いが身についておらず、表すための技能を自分の力にできていない児童がいる。	○「まどをあけると」 （２年） ○「ビー玉めいろ」 （３年）	用具の活用 ・ ハサミ、のり、カッターといった基本的な用具の扱いに慣れ、思った通りに形にできたという経験を増やす。（２年） 身体性を発揮する設定 ・ 自分の意志と見通しをもって材料に働きかけ、手や体全体を十分に使って、表し方を工夫できるようにする。（３年）	
思考力・判断力・表現力等	〈４年、５年〉 ・ つくすることに意欲的で、自分なりに表したいことを思い付き、表す技能をよく発揮している。技能を生かした手ごたえのある題材に関心をもち、自分の活動を肯定的に捉えている。さらに周りにも目を向け、発想を広げ、自分の見方や感じ方を深めさせていくことが課題。	○「おなじもののいっぱい」 ○「アスレチックハウス」 （４年） ○「光のオブジェ」 「カラーコレクション」 （５年）	造形遊びの充実 ・ 造形遊びを通じて、造形的な活動や新しい形や色を思い付き、友達との関わりの中で学び合い、発想や構想をし、自分の見方や感じ方を広げる。（４、５年） 没入できる題材設定 ・ つくすることに没頭し、自分だけの世界に入りこむような環境をつくる。材料や環境に主体的に関わり、自分らしい活動の充実を図れるようにする。（５年）	
学びに向かう力・人間性等	〈６年〉 ・ 思い付いたことを形にしようと、これまでの経験を元に材料や用具を活用している。しかし、表すことだけに没頭できずに躊躇する、自信がもてないといった児童もいる。つくりだす喜びを味わっている姿を目指したい。	○「マイアート～１２才の力で～」 ○「挑戦！ビー玉コースター」 （６年）	自己決定の場の設定 ・ 児童自らつくりだそうとする態度を養うために、これまでの経験を基に、自分で選択し、活動を調整していく活動を設定する。 人との関わり ・ 他者と自分との比較をしたり、認め合ったり、価値づけたりといった経験を重ねるために、グループ活動で人と関わる。	